

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公開番号】特開2008-146240(P2008-146240A)

【公開日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【年通号数】公開・登録公報2008-025

【出願番号】特願2006-330890(P2006-330890)

【国際特許分類】

G 06 Q 20/00 (2006.01)

G 06 Q 50/00 (2006.01)

G 06 Q 10/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/60 4 0 2

G 06 F 17/60 Z E C

G 06 F 17/60 5 0 6

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月21日(2009.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザの備える決済手段を通じてクレジット決済サービスを提供する各種クレジットブランド中からの、クレジットブランド選択処理を行うシステムであって、

クレジットブランドの判定処理を実行する判定装置が、

演算装置、記憶装置、通信装置と、

クレジットブランドとクレジット決済サービスの契約中の加盟店舗の情報を格納する利用可能店舗テーブル、および前記クレジットブランドが提供する付帯サービス内容を示す付帯サービス内容情報を格納する付帯サービス情報テーブルと、

前記各加盟店舗が契約しているクレジットブランドの情報を前記利用可能店舗テーブルから読み出して、ここで読み出したクレジットブランドの付帯サービス内容情報を前記付帯サービス情報テーブルより読み出して、前記各加盟店舗毎に、加盟店舗が契約中の各クレジットブランドが提供する前記付帯サービス内容の提供レベルを比較し、前記提供レベルが所定値以上であるものを最適ブランド候補として判定し、この最適ブランド候補の情報を最終判定結果テーブルに格納する、最適ブランド判定部と、

前記加盟店舗に対する前記最適ブランド候補の情報を、前記最終判定結果テーブルから読み出して、この最適ブランド候補情報を前記決済手段に出力する、最適ブランド情報出力部とを備え、

前記決済手段が、

演算装置、記憶装置、通信装置と、

前記判定装置より最適ブランド候補情報を受信して、この最適ブランド候補情報が示す最適ブランドに対応したクレジット決済アプリケーションを前記記憶装置より読み出して起動し、前記加盟店舗の決済端末との間でクレジット決済サービスの処理を実行する、決済処理部を備える、

ことを特徴とするクレジットブランド選択システム。

【請求項2】

前記決済手段は、

前記加盟店舗におけるクレジット決済処理に先立ち、自身が前記判定装置における最適ブランド判定部に対応するアプリケーションまたは演算回路を備える場合、前記最適ブランド判定部の処理を自身で実行し、この処理により最適ブランド候補情報を取得するものであることを特徴とする、請求項1に記載のクレジットブランド選択システム。

【請求項3】

前記決済手段は、

前記加盟店舗におけるクレジット決済処理に先立ち、自身が前記判定装置における最適ブランド判定部に対応するアプリケーションまたは演算回路を備えない場合、前記判定装置に対して、最適ブランド候補情報の要求通知を送信する、処理要求通知部を備え、

前記判定装置は、

前記決済手段の処理要求通知部から最適ブランド候補情報の要求通知を受信して、前記最適ブランド判定部に対して処理開始を指示する、要求処理部を備える、
ことを特徴とする、請求項1に記載のクレジットブランド選択システム。

【請求項4】

前記各クレジットブランドが提供する前記付帯サービス内容が、クレジット決済処理に伴う、サービスAとサービスBの2種を少なくとも含むものであり、

前記判定装置の最適ブランド判定部は、

前記各加盟店舗毎に、加盟店舗が契約中の各クレジットブランドが提供する前記付帯サービス内容の提供レベルを比較するに際し、前記サービスAについて、その提供レベルが所定値以上であるクレジットブランドを特定する一次判定と、この一次判定で特定したクレジットブランドより、前記サービスBについて、その提供レベルが所定値以上であるクレジットブランドを特定する二次判定とを実行し、前記二次判定で特定されたクレジットブランドを最適ブランド候補として特定するものである、
ことを特徴とする請求項1に記載のクレジットブランド選択システム。

【請求項5】

前記判定装置が、

各ユーザが前記加盟店舗ごとに優先使用するクレジットブランドの情報を優先ブランド情報として格納した優先ブランドテーブルにアクセス可能であり、

前記最適ブランド判定部は、

前記提供レベルが所定値以上である最適ブランド候補を特定できない場合、前記優先ブランドテーブルより読み出した該当加盟店舗における優先ブランド情報を、前記最終判定結果テーブルにおける最適ブランド候補として格納するものである、
ことを特徴とする請求項1に記載のクレジットブランド選択システム。

【請求項6】

前記決済手段の決済処理部は、

前記判定装置より受信した最適ブランド候補情報を出力インターフェースに表示し、この最適ブランド候補情報の表示に伴う、ユーザからのクレジットブランドの選択指示を入力インターフェースにて受けて、当該選択指示に応じたクレジットブランドに対応したクレジット決済アプリケーションの実行処理を行うものである、
ことを特徴とする請求項1に記載のクレジットブランド選択システム。

【請求項7】

ユーザの備える決済手段を通じてクレジット決済サービスを提供する各種クレジットブランド中からの、クレジットブランド選択処理を行うコンピュータシステムにおける、

演算装置、記憶装置、および通信装置と、クレジットブランドとクレジット決済サービスの契約中の加盟店舗の情報を格納する利用可能店舗テーブル、および前記クレジットブランドが提供する付帯サービス内容を示す付帯サービス内容情報を格納する付帯サービス情報テーブルとを備えて、クレジットブランドの判定処理を実行する判定装置が、

前記各加盟店舗が契約しているクレジットブランドの情報を前記利用可能店舗テーブルから読み出して、ここで読み出したクレジットブランドの付帯サービス内容情報を前記付

帯サービス情報テーブルより読み出して、前記各加盟店舗毎に、加盟店舗が契約中の各クレジットブランドが提供する前記付帯サービス内容の提供レベルを比較し、前記提供レベルが所定値以上であるものを最適ブランド候補として判定し、この最適ブランド候補の情報を最終判定結果テーブルに格納する処理と、

前記加盟店舗に対する前記最適ブランド候補の情報を、前記最終判定結果テーブルから読み出して、この最適ブランド候補情報を前記決済手段に出力する処理とを実行し、

演算装置、記憶装置、通信装置とを備えた前記決済手段が、

前記判定装置より最適ブランド候補情報を受信して、この最適ブランド候補情報が示す最適ブランドに対応したクレジット決済アプリケーションを前記記憶装置より読み出して起動し、前記加盟店舗の決済端末との間でクレジット決済サービスの処理を実行する、

クレジットブランド選択方法。

【請求項 8】

ユーザの備える決済手段を通じてクレジット決済サービスを提供する各種クレジットブランド中からの、クレジットブランド選択処理を行うシステムが備える、クレジットブランドの判定処理を実行する判定装置であって、

演算装置、記憶装置、通信装置と、

クレジットブランドとクレジット決済サービスの契約中の加盟店舗の情報を格納する利用可能店舗テーブル、および前記クレジットブランドが提供する付帯サービス内容を示す付帯サービス内容情報を格納する付帯サービス情報テーブルと、

前記各加盟店舗が契約しているクレジットブランドの情報を前記利用可能店舗テーブルから読み出して、ここで読み出したクレジットブランドの付帯サービス内容情報を前記付帯サービス情報テーブルより読み出して、前記各加盟店舗毎に、加盟店舗が契約中の各クレジットブランドが提供する前記付帯サービス内容の提供レベルを比較し、前記提供レベルが所定値以上であるものを最適ブランド候補として判定し、この最適ブランド候補の情報を最終判定結果テーブルに格納する、最適ブランド判定部と、

前記加盟店舗に対する前記最適ブランド候補の情報を、前記最終判定結果テーブルから読み出して、この最適ブランド候補情報を前記決済手段に出力する、最適ブランド情報出力部とを備える、

クレジットブランド判定装置。

【請求項 9】

ユーザの備える決済手段を通じてクレジット決済サービスを提供する各種クレジットブランド中からの、クレジットブランド選択処理を行うシステムが備える決済手段であって、

演算装置、記憶装置、通信装置と、

クレジットブランドの判定処理を実行する判定装置より、最適ブランド候補情報を受信して、この最適ブランド候補情報が示す最適ブランドに対応したクレジット決済アプリケーションを前記記憶装置より読み出して起動し、クレジットブランドとクレジット決済サービスの契約中の加盟店舗の決済端末との間でクレジット決済サービスの処理を実行する、決済処理部を備える、

ことを特徴とするクレジット決済手段。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決する本発明のクレジットブランド選択システムは、ユーザの備える決済手段を通じてクレジット決済サービスを提供する各種クレジットブランド中からの、クレジットブランド選択処理を行うシステムであって、クレジットブランドの判定処理を実行する判定装置が、演算装置、記憶装置、通信装置と、クレジットブランドとクレジット決

済サービスの契約中の加盟店舗の情報を格納する利用可能店舗テーブル、および前記クレジットブランドが提供する付帯サービス内容を示す付帯サービス内容情報を格納する付帯サービス情報テーブルと、前記各加盟店舗が契約しているクレジットブランドの情報を前記利用可能店舗テーブルから読み出して、ここで読み出したクレジットブランドの付帯サービス内容情報を前記付帯サービス情報テーブルより読み出して、前記各加盟店舗毎に、加盟店舗が契約中の各クレジットブランドが提供する前記付帯サービス内容の提供レベルを比較し、前記提供レベルが所定値以上であるものを最適ブランド候補として判定し、この最適ブランド候補の情報を最終判定結果テーブルに格納する、最適ブランド判定部と、前記加盟店舗に対する前記最適ブランド候補の情報を、前記最終判定結果テーブルから読み出して、この最適ブランド候補情報を前記決済手段に出力する、最適ブランド情報出力部とを備え、前記決済手段が、演算装置、記憶装置、通信装置と、前記判定装置より最適ブランド候補情報を受信して、この最適ブランド候補情報が示す最適ブランドに対応したクレジット決済アプリケーションを前記記憶装置より読み出して起動し、前記加盟店舗の決済端末との間でクレジット決済サービスの処理を実行する、決済処理部を備える、ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明のクレジットブランド選択方法は、ユーザの備える決済手段を通じてクレジット決済サービスを提供する各種クレジットブランド中からの、クレジットブランド選択処理を行うコンピュータシステムにおける、演算装置、記憶装置、および通信装置と、クレジットブランドとクレジット決済サービスの契約中の加盟店舗の情報を格納する利用可能店舗テーブル、および前記クレジットブランドが提供する付帯サービス内容を示す付帯サービス内容情報を格納する付帯サービス情報テーブルとを備えて、クレジットブランドの判定処理を実行する判定装置が、前記各加盟店舗が契約しているクレジットブランドの情報を前記利用可能店舗テーブルから読み出して、ここで読み出したクレジットブランドの付帯サービス内容情報を前記付帯サービス情報テーブルより読み出して、前記各加盟店舗毎に、加盟店舗が契約中の各クレジットブランドが提供する前記付帯サービス内容の提供レベルを比較し、前記提供レベルが所定値以上であるものを最適ブランド候補として判定し、この最適ブランド候補の情報を最終判定結果テーブルに格納する処理と、前記加盟店舗に対する前記最適ブランド候補の情報を、前記最終判定結果テーブルから読み出して、この最適ブランド候補情報を前記決済手段に出力する処理とを実行し、演算装置、記憶装置、通信装置とを備えた前記決済手段が、前記判定装置より最適ブランド候補情報を受信して、この最適ブランド候補情報が示す最適ブランドに対応したクレジット決済アプリケーションを前記記憶装置より読み出して起動し、前記加盟店舗の決済端末との間でクレジット決済サービスの処理を実行することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明のクレジットブランド判定装置は、ユーザの備える決済手段を通じてクレジット決済サービスを提供する各種クレジットブランド中からの、クレジットブランド選択処理を行うシステムが備える、クレジットブランドの判定処理を実行する判定装置であって、演算装置、記憶装置、通信装置と、クレジットブランドとクレジット決済サービスの契約中の加盟店舗の情報を格納する利用可能店舗テーブル、および前記クレジットブ

ンドが提供する付帯サービス内容を示す付帯サービス内容情報を格納する付帯サービス情報テーブルと、前記各加盟店舗が契約しているクレジットブランドの情報を前記利用可能店舗テーブルから読み出して、ここで読み出したクレジットブランドの付帯サービス内容情報を前記付帯サービス情報テーブルより読み出して、前記各加盟店舗毎に、加盟店舗が契約中の各クレジットブランドが提供する前記付帯サービス内容の提供レベルを比較し、前記提供レベルが所定値以上であるものを最適ブランド候補として判定し、この最適ブランド候補の情報を最終判定結果テーブルに格納する、最適ブランド判定部と、前記加盟店舗に対する前記最適ブランド候補の情報を、前記最終判定結果テーブルから読み出して、この最適ブランド候補情報を前記決済手段に出力する、最適ブランド情報出力部とを備えることを特徴とする。